

国語科「みんなで楽しく過ごすために」単元指導計画(全6時)

時	活動内容	ねらい(付けたい力)	手立て	評価基準
1	<p>・これまでのふれあい班活動の満足度のデータを提示し、満足度の現状から「みんなで楽しく過ごすための」ふれあい班活動の内容を話し合おうという単元を貫く課題を見通す。</p>	<p>ふれあい班活動の内容を考えるという、身近な課題を自分事として考え、話し合いの活動を行うことの見通しをもつことができる。</p> <p>話し合いの目的と条件について理解することができる。</p> <p>話し合いには、一人ひとりが意見をもって参加するという意識をもつ</p>	<p>満足度のデータを見せ、下級生たちが、遊びに満足していない現状もあることを知ってもらう。</p> <p>これまでのふれあい班活動の内容について振り返り、楽しかったことや苦労したことを挙げる。</p>	<p>本単元の話し合いの目的や条件を理解することができている。</p> <p>(思A(1)ア)</p> <p>よりよい解決に向けて話し合おうとしている。</p> <p>(態)</p>
<p>単元を貫く課題 「みんなで楽しく過ごすため」の活動を話し合おう。</p>				
2	<p>・よりよく話し合うために重要なことについて考える。</p> <p>・話し合いレベルの振り返りをするためのレーダーチャートについて理解する。</p> <p>・話し合いの役割を決め、進行計画を立てる。</p> <p>司会を決める 進行の見通しをもつ</p>	<p>よりよい話し合いにするために、考えを広げたり、深めたりすることが大切であると気付くことができる。</p> <p>話し合いを進める上で、進行計画や司会、記録の役割の必要性に気付くことができる。</p>	<p>よりよい話し合いにするために、考えを沢山出すだけではなく、意見を広げることの大切さを考えさせる。</p> <p>出された考えから選ぶ話し合いと、考えを広げたり、深めたりする話し合いを比較する。</p> <p>仲間の意見を比較して聞き、話すことができるようになるために、レーダーチャートを活用し、現時点での実力を記録しておく。</p>	<p>よりよい解決に向けて話し合おうとしている。</p> <p>(態)</p>
3	<p>・考えをまとめる際に大切なことは何か考える。(意見、理由、根拠)</p> <p>・目的と条件に沿った活動の内容を考え、ロイロノートにまとめる。</p>	<p>「みんなが楽しく過ごすために」という目的に合う活動を主張・理由・根拠を明確にして考えることができる。</p> <p>1～6年生のそれぞれの立場に立って活動内容を考えることができる。</p>	<p>前時を振り返り、よりよい話し合いのためには、意見を広げたり、深めたりする必要があったことを思い出させる。そのために一人ひとりの考えを明確にするにはどうすればよいか考えさせる。</p> <p>異学年交流の時間であるため、それぞれの立場に立って考えをまとめさせる。</p>	<p>目的や意図に応じて、伝え合う内容を検討することができている。</p> <p>(思A(1)ア)</p> <p>自分の考えを、主張・理由・根拠に分けて図や表で整理している。</p> <p>(知(2)イ)</p>
4	<p>・【本時】 展開案参照</p>			
5	<p>・話し合っ出て出された「仮の結論」を試行し、問題点や改善策を見つける。</p> <p>・問題点や改善策について解決策を話し合う。</p>	<p>目的に沿って話し合った結論を試すことで、新たな問題点や改善策を見つけることができる。</p> <p>1～6年生のそれぞれの立場に立って活動を試行し、本当に「みんなが楽しく過ごす」ことができるのか考えことができる。</p>	<p>試行のなかで、ただ楽しむだけではなく、どの学年でも楽しめるかをよく考えながら試行させたい。</p> <p>1～6年生のみんなが同じルールで活動すると、誰かしらは我慢をしなくてはならないことや、折り合いを付けて、どちらかに合わせるということも大切になってくることを実感させたい。</p>	<p>よりよい解決に向けて話し合おうとしている。</p> <p>(態)</p>
終末	<p>・改めて話し合っ決めて結論を実際にふれあい班活動でやってみる。</p>	<p>試行錯誤して話し合っ考えた活動によって、みんなが楽しく過ごせているか観察しながら活動することができる。</p>	<p>他学年の表情をよく観察しながら活動するよう声をかけ活動に参加させる。</p>	

第6学年 国語科学習指導案 単元名「みんなで楽しく過ごすために」

1 本時のねらいと付けたい力

ねらい： みんなが楽しめる縦割り遊びについて話し合う活動を通して、自分の意見と仲間の意見を比べて聞き、共通点や相違点を明らかにしながら話し合うことができる。

付けたい力：「相手意識」

(思考・判断・表現 A(1)オ)

2 本時の展開 (4 / 6時間)

過程	活動内容	指導の留意点 ☆導入の工夫&展開の間の手立て
導入	<p>1. ふれあい班活動について1年生にインタビューした動画を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困っていることがあるとは知らなかった。 ・6年生として、みんなが楽しめるふれあい班活動を考えていかないといけない。 <p>2. 課題を確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>課題 自分と仲間の意見を比べながら、結論を出そう。</p> </div> <p>3. 話し合いレベルのチャートを確認し、自分のめあてをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は、自分の意見に理由をつけて話すことを大事にしよう。 ・僕は、相手の意見を聞いて話すを頑張ろう。そのために、しっかり聞くことを大切にしよう。 	<p>☆ふれあい班活動において、遊びが楽しくないと感じている児童のインタビュー動画を見せ、本時の話し合いの必然性を生み出す。</p> <p>・前時に作成した、話し合いにおける3つの観点「理由をもって意見を話す」「相手の意見を聞いて話す」「進んで話す」のレーダーチャートを活用し、本時の自分のめあてを考える場を設ける。</p>
展開	<p>4. ふれあい班のグループに分かれて話し合い、仮の結論をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>議題 みんなが楽しめる「ふれあい遊び」を考えよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自分の考えを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが好きな鬼ごっこにしようよ。 ・調べたら3回連続タッチで鬼が変わるルールがあったよ。面白そう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>他学年の実態を踏まえて内容を検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドッジボールは楽しくないと思う人が多いみたい。勝つことができないから楽しくないのか。 ・でも、数人はドッジボールがいいってアンケートに書いてあるよ。 </div>	<p>・必要に応じてアンケート結果の詳細を提示し、他学年の実態を踏まえて話し合いができるようにする。</p> <p>☆自分の意見と仲間の意見の共通点や相違点を見つけて話している児童の発言があれば、話し合いを止め、全体で価値付けることで、話し合いの方向付けを行う。</p>
終末	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>それぞれの意見の共通点や相違点から折衷案を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鬼ごっこでもドッジでも、1年生が6年生にも勝てる(負けない)ようにする工夫がいるかも。 ・まとめると…ボール鬼はどうか。鬼ごっこもドッジもやりたい人はいたし、ボールを持っていればボールを当ててタッチして、5・6年生は3回連続タッチとかのルールの工夫をしよう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>仮の結論 ボール鬼を提案しよう。鬼は3回タッチや柔らかいボールでみんなが楽しめるようにしよう。</p> </div> <p>5. レーダーチャートをもとに学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日は聞くことを大切にできたから、「相手の意見を聞いて話す」のところを前より高くしました。仲間の意見よく聞くことで、自分の意見と仲間の意見を合わせた意見を出すことができました。 	<p>・レーダーチャートが授業前と比較して変化した児童に「どうして変わったの?」と問いかけることで、その変化の要因を言語化させる。</p> <p>・自分の意見と仲間の意見を比べて聞くことで、みんなが楽しめる結論につながる意見を言うことができた児童を全体の場で広め、方向付ける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>評価規準： 自分の意見と仲間の意見を比べて聞き、共通点や相違点を明らかにしながら話し合うことができている。(思考・判断・表現 A(1)オ)</p> </div>